

【支援企業紹介】 ②



有限会社 コアリング

技術と品質を守りながら 「次の一手」を探る

平成26年度顧客満足度調査結果 ④

「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」開催 ⑥

平成26年度いわて商談会開催について ⑦

産学連携学会 第12回年次大会に参加しました ⑦

設備貸与制度のご案内 ⑧

いわて特産品コンクールのご案内 ⑧

コアリングの これがポイント!

工業製品の部品は、複数の金型の組み合わせで生産される。絞りをはじめ切断する、曲げるなど金属の塑性を熟知した加工段取りはまさに企業の「核」。どんな複雑な形状にも対応する技術力が強みだ。



事業カレンダー

いわて産業振興センターに関連する事業紹介です

9月 [SEPTEMBER]

- 10日・11日 ものづくりアカデミー・中堅管理者・後継者養成講座(1)
- 25日・26日 いわて特産品コンクール

10月 [OCTOBER]

- 8日・9日 ものづくりアカデミー・中堅管理者・後継者養成講座(2)
- 23日・24日 ものづくりアカデミー・ISO9001内部監査員養成講座
- 29日・30日 メディカルクリエーションふくしま2014

11月 [NOVEMBER]

- 12日・13日 ものづくりアカデミー・中堅管理者・後継者養成講座(3)
- 13日 いわて商談会
- 12日~14日 HOSPEX Japan
- 19日~21日 ET2014
- 21日 北東北ものづくり企業医療機器開発・技術展示会

技アリ!

いわての仕事録



1



2



3



4



5



7



9



11



6



8



10



11

1 本社の金型設計室ではメーカーからの製品図をもとに3DCADで部品の構造図を作成。必要な金型の構成を検討して工場に送る。
 2 マシニングセンターやワイヤーカット放電加工機が立ち並ぶ工場内。金型製造には大型の設備が必要になり、投資金額の調達は重要なテーマだ。
 3 金型設計室から送られてきた図面をもとにMCプログラムを組み、ワイヤーカット放電加工機にデータを流す。
 4 一関市滝沢の本社工場。
 5 6 7 8 同社のコア技術でもある「絞り」で製造された試作品(5 7 8)。研磨加工は髪の毛よりも細い1000分の1クラスで金型を研磨、精度を上げていく。
 9 完成部品納入の仕事は全業務の5%程度に過ぎない。トライ用のプレス機。絞り活用された試作品。
 10 11 3次元精密測定器で計測、品質を確認したのち納品。

【支援企業紹介】一関市 有限会社コアリング

一関市に本社工場を構える有限会社コアリングは、金型の製造やプレス加工を手がける。産業分野や製造品目の変化、海外との競争など激変の時代への対応を、沼倉一夫社長が語ってくれた。

【いわて産業振興センター活用事例】創業時より平成17年度まで設備貸与を利用して加工機械を導入。今後は市場ニーズに対応した、大型マシニングセンターの導入に向けた情報提供や補助金等の活用を希望

技術の核として仲間を繋ぐ。地域産業を守るため会社を設立

全ての工業製品の母型であり、製造技術力の指標ともいわれる金型産業。長らく日本のものづくりの「顔」として製造業界を支えてきたが、近年アジア諸国への技術流出・拡散が顕著で、多くの金型メーカーが苦戦している。有限会社コアリングの沼倉一夫社長も、長年勤めていた金型メーカーの工場閉鎖を経験し、平成7年に会社を立ち上げた。

「自分が勤務していたメーカーと取り引きしていた、地元の同業他社の倒産を防ぎたかった。生産管理から製造技術、営業など一連の仕事を経験

していたことも決意を後押しした」。企業名にも、技術の核(コア)となり仲間を繋いでいく(リング)という自らの思いを込めた。

創業当初は委託生産加工で始まった同社は、2年後、本社の移転を契機に実製造部門を立ち上げ本格的な生産に乗り出す。NCフライスや平面研削盤などの大型加工機を導入、前職時代の技術者が集まり工業用デスクトップパソコンの金型製作からスタート。その後、ノートパソコンのバックライトフレームや液晶テレビモニターの金型生産にも着手、平成15~16年には中国やフィリピンに金型を移管していた時期もある。技術指導を含めた委託生産であったが、「当時の日本の環境で

は大型の金型が作れなかったから」と沼倉社長。生産規模という点から、アジア圏の台頭はすでに始まっていた。

業界のニーズに技術で呼応する 目標は大型金型の生産体制確立

現在の主要製造物はオフィス用コピー機はじめ車載関係部品のための金型などで、メーカーからの製品図をもとに金型の構造を考え、3次元CADで設計図を作成、機械加工を経て組み付け後にトライ(試圧)を行ったのち納品される。「目標はこの工程のスピードアップ。より早く次の仕事へ取り組めるよう、今以上に短い納期を目指しています」と沼倉社長。たとえばマシニングセンターやワイ

ヤーカット放電加工機はコンピュータ制御で24時間運転、稼働率を上げるなどして工程の短縮に努めている。

この前提として高い技術があるのは当然で、同社では10年以上前に3DCADやマシニングセンターを導入し、金属の表面に凹凸をつける「絞り」の技術確立に注力してきた。

「絞り加工を使えば部品点数が減らせるため、今は家電や車でもこの技術が求められる。ましてやモデルチェンジの頻繁なパソコンなどの製造に追随していくには必須です」。さらなる高品質な金型生産のため今後は金属の変形率等を計算する3Dパソコンも導入し、海外との競争に備える計画だ。「3Dパソコンがあればトライ工程の

短縮にも繋がる。海外の圧倒的な生産力には、日本は検査システム等の自動化などで対応するしかない」と沼倉社長は分析する。

金型は「鉄の芸術」ともいわれる。型組など独自技術が多く、一般的には一度作った金型を再製造することはほとんどないからだ。そんな経験と職人技の結晶も、加工機の登場で自動化され、技術格差は縮まっている。そこで沼倉社長は、万単位の部品を作る順送型など国内では製造が難しかった大型金型へ、培ってきた技術と経験で取り組もうとしている。

「誰にもできない仕事をしていかなくては」。その一言に、ものづくり日本、再生のきっかけが見えた。

納品スピードのアップも技術力と品質ありき

金型の発注は基本的に1個単位。製品図からの製造は私たち金型メーカーが構想し、製造します。作業者の経験値は必要ですが、作業は動ではダメ。すべて数値で把握できるよう工程管理を徹底し、納品スピードの向上にも努めています。

技アリ!ポイント

企業データ

会社名 有限会社コアリング
 本社 一関市滝沢字苦木39-3
 電話 0191-23-3084
 代表者 沼倉一夫

創業 平成7年(1995)5月
 従業員 12名
 業種 金型製造・治工具の組立販売等
 U R L <http://www.coring.co.jp/>

「次の一手」を探る 技術と品質を守りながら

代表取締役社長 沼倉一夫



平成26年度 顧客満足度調査結果

調査目的

センターが提供したサービスへの満足度及びその理由等の調査を行い、その結果をサービス内容・方法の検討に資することにより、センターのサービス内容の充実及び質の向上を図ることを目的とする。

調査概要

- (1)実施時期 平成26年5月29日(木)～6月12日(木)
- (2)対象者 平成25年度内に当センターの提供するサービスをご利用頂いた企業・個人等
- (3)項目 サービス利用の満足度(5段階)及びその理由(複数回答可)、センターに対する要望・意見
- (4)その他 次の事業については、既にアンケートを実施済み(※下記についての満足理由は調査していない)
 ①北いわて産業支援事業(商談会、交流会及び展示会支援)／②異業種交流ネットワーク形成事業／③いわて希望ファンド(中小企業等試験販売事業)／
 ④物産販路開拓事業／⑤商談会(発注・受注)／⑥工程改善指導／⑦半導体関連産業取引あっせん事業／⑧医療機器関連産業参入促進事業(交流会及び展示会支援)／
 ⑨ソフトウェア開発業務取引支援事業(交流会)／⑩展示会出展支援(機械要素技術展)／⑪次世代モバイル開発拠点形成事業／
 ⑫新素材・加工産業集積促進事業

調査結果

総合満足度 **4.06** (昨年度 3.97) ※中期経営計画における目標値4.00

回答率 **76.0%** [927/1,220] (昨年度 67.6%)

※満足度算出方法 満足(ウエイト:5)から不満(ウエイト:1)までの回答の加重平均により算出

事業名	満足度	対象数	回答率	回答率
総合支援事業	4.08	384/1,220(31.5%)	217/384(56.5%)	217/927(23.4%)
新事業・新分野進出支援事業	3.77	216/1,220(17.7%)	180/216(83.3%)	180/927(19.4%)
設備貸与等事業	4.75	172/1,220(14.1%)	130/172(75.6%)	130/927(14.0%)
取引市場開拓支援事業	3.88	385/1,220(31.6%)	343/385(89.1%)	343/927(37.0%)
研究開発支援事業	4.35	63/1,220(5.1%)	57/63(90.5%)	57/927(6.2%)

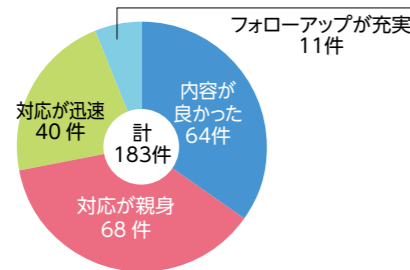
満足度内訳

事業名	満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	計
総合支援事業	4.08	86	68	58	5	0	217
新事業・新分野進出支援事業	3.77	68	44	37	21	10	180
設備貸与等事業	4.75	105	18	7	0	0	130
取引市場開拓支援事業	3.88	103	116	105	18	1	343
研究開発支援事業	4.35	31	19	3	4	0	57
全体	4.06	393	265	210	48	11	927

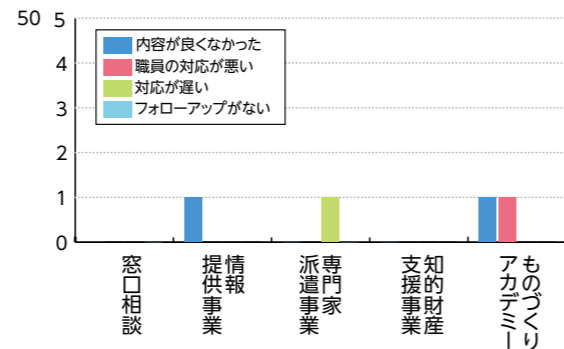
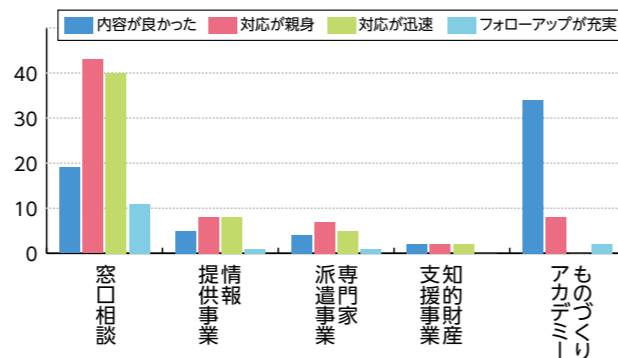
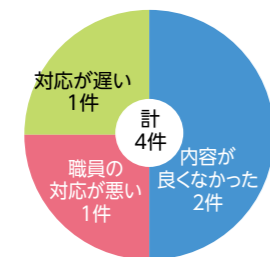
満足理由および不満理由の各割合

【総合支援事業】

満足理由 (総合支援・全体)



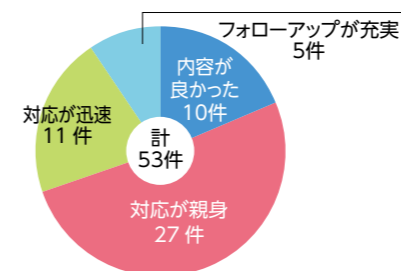
不満理由 (総合支援・全体)



※北いわて産業支援事業、異業種交流ネットワーク形成事業の満足理由および不満理由は調査していない。

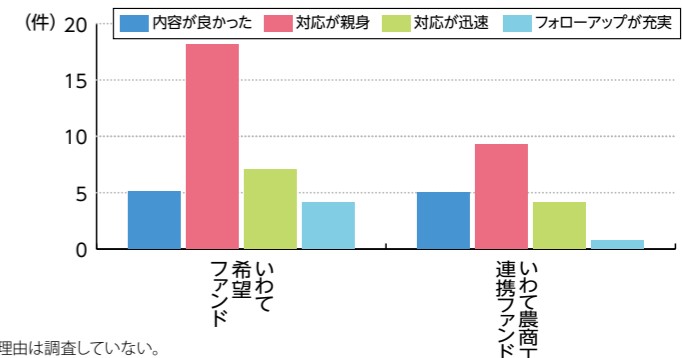
【新事業・新分野進出支援事業】

満足理由 (新事業・全体)



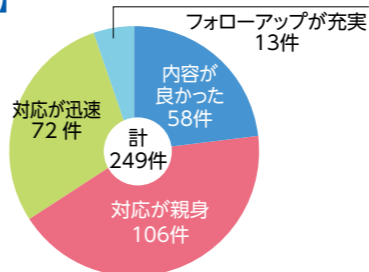
※今回の調査では不満回答なし。

※いわて希望ファンド(中小企業等試験販売事業)、物産販路開拓事業の満足理由および不満理由は調査していない。

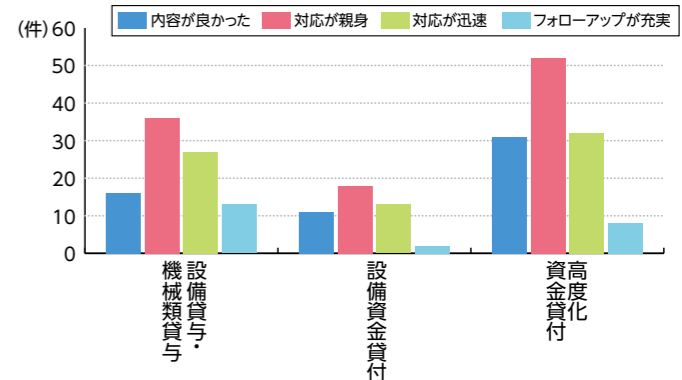


【設備貸与等事業】

満足理由 (設備貸与等・全体)

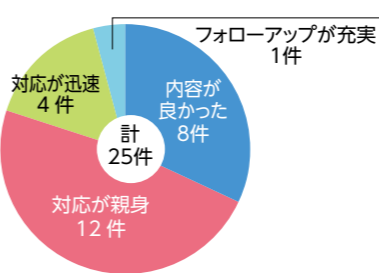


※今回の調査では不満回答なし。

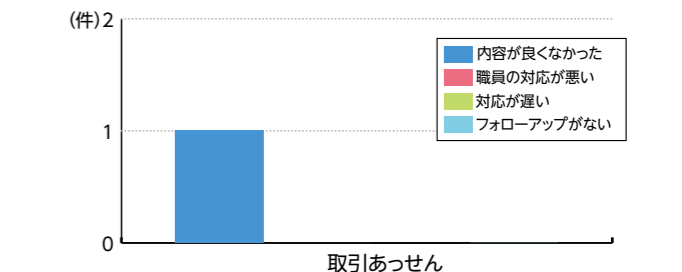
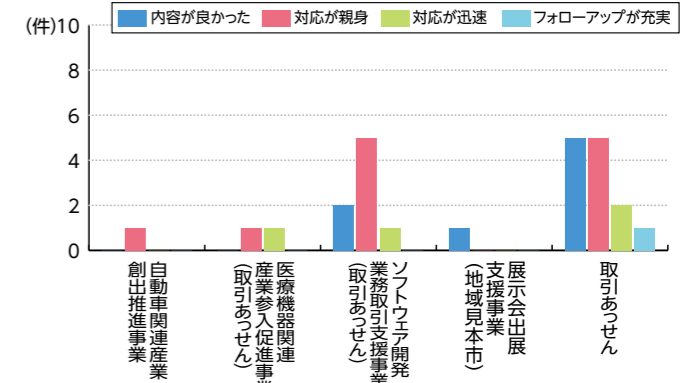


【取引市場開拓支援事業】

満足理由 (総合支援・全体)



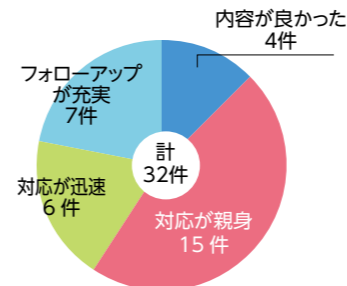
不満理由 (取引支援・全体)



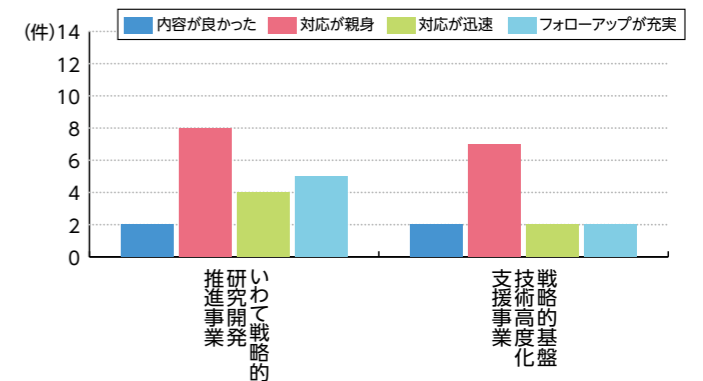
※商談会(発注・受注)、工程改善指導、半導体関連産業取引あっせん事業、医療機器関連産業参入促進事業(交流会及び展示会支援)、ソフトウェア開発業務取引支援事業(交流会)、展示会出展支援(機械要素技術展)の満足理由および不満理由は調査していない。

【研究開発支援事業】

満足理由 (研究開発・全体)



※今回の調査では不満回答なし。



平成26年度いわて商談会開催について

当センターでは、取引拡大をめざす県内外の受・発注企業の皆様が、一堂に会して商談及び相互交流を行う場を毎年提供しております。
本年度は下記のとおり開催いたします。
詳細につきましては、別途郵送でご案内をさせていただきます。

開催日時 平成26年11月13日(木)
●商談会(13:00~17:45) ●懇親会(18:00~19:30)

会場 ホテルシティプラザ北上(北上市川岸1-14-1)

参加対象 岩手県内外の受発注登録企業及び県外発注企業
(casting, iron, steel, mechanical processing, sheet metal, press, resin, surface treatment electronic devices, metal material companies, etc.)

定員 発注企業 50社 / 受注企業 150社

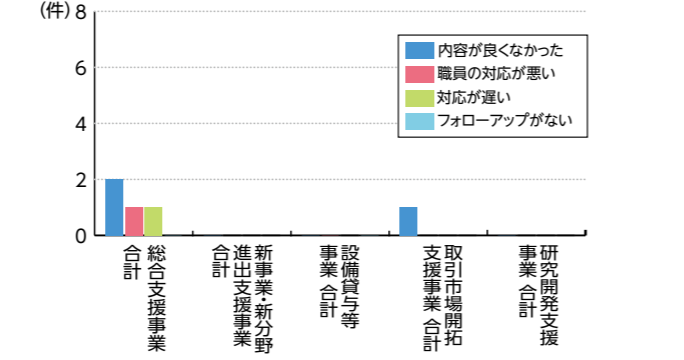
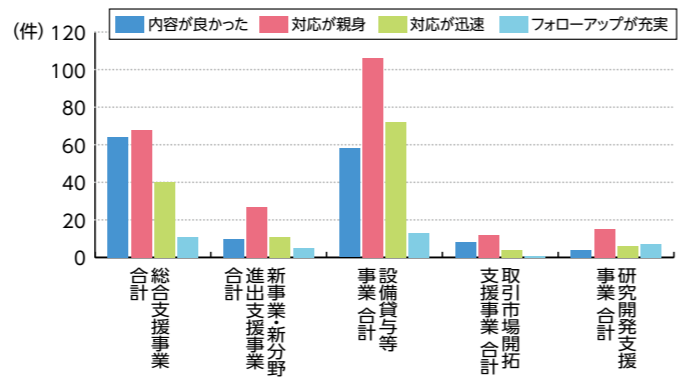
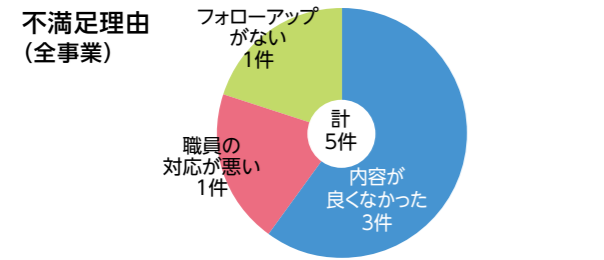
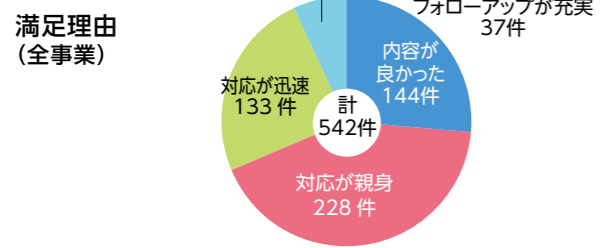
- | | | |
|----------|-----|---|
| 参加料金(予定) | 商談会 | ●いわて産業振興センター賛助会員 ……1名につき3,000円
●いわて産業振興センター非賛助会員…1名につき6,000円
●岩手県外企業 ……1名につき8,000円
●発注企業 …… 無料招待 |
| | 懇親会 | ●受注企業 ……1名につき5,000円
●発注企業 …… 無料招待 |

申込方法 別途郵送にてご案内申し上げます。

お問い合わせ (公財)いわて産業振興センター ものづくり振興グループ
TEL:019-631-3822 / FAX:019-631-3830 / E-mail:sitauke@joho-iwate.or.jp



【全体】



分析結果

全体の満足度は、昨年度から上昇し4.06となり、中期計画において目標としている4.00を達成する結果となった。この要因としては主に、全回答総数の31.6%を占め、回答率が89.1%と高かった取引支援事業の満足度が3.69から3.88に上昇したことが挙げられる。また回答率に関しては、昨年に引き続いて上昇傾向にある。さらなる回答率改善にあたっては、事前に実施されたアンケートの回答率が高い(568/595、95.5%)ことから、事業実施から期間を空けずにタイムリーに行うことや、各事業で調査を行う際、本調査項目を必ず入れるなど、調査対象数、回答数の拡大に向けた改善が必要である。

次に「満足・やや満足」の理由の割合を見てみると、全体で「職員の対応が親身」とする回答の割合が42.1%と高く、顧客に寄り添った支援が評価されている一方で、「フォローアップが充実」の回答割合が6.8%となった。企業訪問回数の増加を希望する意見もあることから、事業終了後も継続的に支援を行うことや、定期的な顧客訪問、さらなる支援の実施等の取組みが必要であると考えられる。

また、少数ではあるが「不満・やや不満」といった回答もあり、その内容としてはマッチングの不調に起因すると考えられるものもあった。全体を通して、「今後とも宜しくお願いします」「今年も利用します」などといった声が非常に多く、当センターが提供する事業・サービスへの期待と関心のさらなる高まりが感じられる。

産学連携学会 第12回年次大会に参加しました

6月25日(水)から6月27日(金)までの3日間、下諏訪総合文化センター(長野県下諏訪町)において産学連携学会年次大会が開催されました。本大会は、産学連携に関する諸課題について、産学官の学識経験者や実務者が広く交流し、相互に啓発しあう場であり、今年で12回目を数えます。

全体会議に合わせ、「企業人が考える産学官連携」と題して多摩川精機株式会社副会長の萩本氏による特別講演と「デジタルファブリケーション時代の中小製造業の姿」をテーマにしたシンポジウムが開催されました。

今年度から、プレゼンテーション(12分)後の討論時間が3分から8分になり、またショートプレゼンテーション(5分)後に各ポスター

の前で個別に議論を行うダイアログセッションが加わり、より議論が深まりました。

全国から170を超える発表があり、当センターからは「3校連合チームで全日本学生フォーミュラ大会参加プロジェクトによる人材育成」というタイトルで発表を行い、多くの質問・意見の中で有意義な議論が生まれました。

当センター以外の岩手県関連としては、岩手大学(地域連携推進機構)、釜石ヒカリフーズ㈱、JST復興センター盛岡事務所よりそれぞれ発表がありました。

当センターでは今後も産学官連携を進めて参ります。



「青森・秋田・岩手 3県合同商談会」開催しました

さる7月2日、北東北3県の(公財)21あおもり産業総合支援センター及び(公財)あきた企業活性化センターとの共催で、標記商談会をTRC東京流通センター第一展示場(東京都大田区)において開催いたしました。

この商談会は、関東地区を中心とした発注企業(メーカー、商社)の皆様と、青森・秋田・岩手県内の特色を持った受注企業の方々が一堂に会して、個別商談や情報交換等をしていただくため、昨年に引き続き開催したもので、本年で11回目となります。

当日は、発注企業が53社、青森・秋田・岩手の各財団に登録している受注企業が138社(うち岩手県は56社)参加しました。

会場では、自社の技術や製品を積極的に売り込む真剣な姿が見られ、発注企業と受注企業との間で活発な商談が行われました。

参加した企業様からは「具体的な商談ができた。取引の多くは商談会によるもので、大変ありがたい」(岩手・受注企業)といった声もいただくなど、今後継続的な取引につながることを期待されます。

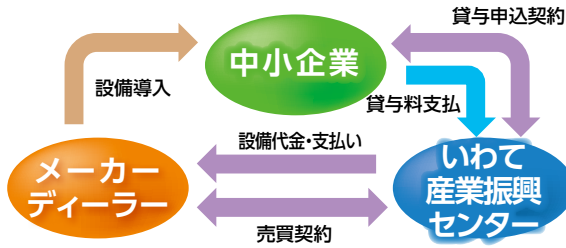


設備貸与制度のご案内

長期 5年~10年
低利 年1.65%
無担保 金融機関の借入枠とは別枠です

誰がどうも

「設備貸与制度」は、中小企業の皆様が機械・設備を導入するときに、センターがそれを商社・メーカーから直接購入して、低利で割賦販売またはリースをする、公的制度です。



以下のいずれか1つの条件を満たせば、

最長10年、1億円まで貸付可能です。(リースは除く)

- (1) 経営革新計画の承認企業
- (2) 異分野連携新事業分野開拓計画の承認企業
- (3) ISO9000/ISO14000の認証取得企業
- (4) 加工高に対する県内企業への外注比率が10%以上の企業
- (5) 県内企業5社以上へ下請発注している企業
- (6) 県内企業への下請発注額が年間1,000万円以上の企業
- (7) 申請する設備を設置することで(4)~(6)に該当する企業でも可

東日本大震災で設備または事業所が被災し、市町村等が発行する罹災証明書等の発行を受けている中小企業

最長10年、措置期間2年利息1.55%で貸付可能です。

※一部、対象とならない業種、設備があります。センターにお問い合わせください。

区分	設備貸与(割賦販売)	リース
対象企業	県内に事業所・工場を有する中小企業(企業組合・協業組合含む)	従業員20人以下の県内小規模企業者(商業・サービス業は5人以下)
貸付期間	原則5年または7年	原則5年または7年
貸付限度額(消費税含む)	100万円~8,000万円	100万円~8,000万円
対象設備	設備(建物を除く)	汎用設備(車輛を除く)
保証金	貸与額の10%(最終償還時に返済)	---
利息(貸与損料)リース料	年1.65%	5年=1.822% 7年=1.346%
連帯保証人	法人:代表者1名、個人事業主:なし	

お問い合わせ

総務・金融グループ

☎019-631-3821

FAX019-631-3830

<http://www.joho-iwate.or.jp/setsubi>

いわて特産品コンクール

本格復興推進年!「なりわい」の再生、地域とともに。

出品者募集中
 申込締切
8/29金



平成25年度
 岩手県知事賞 食品部門
三陸海の贈り物
 協同組合三陸パートナーズ



平成25年度
 岩手県知事賞 工芸品・生活用品部門
山びどう染織ストール
 糸ぱた工房

入賞者特典 新聞媒体による受賞PR広告

出品者特典 PRパンフレット作成・配布
 岩手県アンテナショップ(東京銀座・福岡)、物産展、商談会など

●開催日時等

コンクール部門名称	審査会日時	表彰式日時
食品部門	9月18日(木) 9:20~	9月19日(金)午後
工芸品・生活用品部門	9月19日(金) 9:20~	

主催/いわての物産展等実行委員会・岩手県

●申込み方法

申込みは、所定の申込書により、郵便又はFAXにより申し込んでください。参加申込書は(公財)いわて産業振興センターホームページからダウンロードできます。
<http://www.joho-iwate.or.jp/bussan/>

申し込み先 **いわての物産展等実行委員会事務局(公益財団法人いわて産業振興センター)**
 〒020-0857 盛岡市北飯岡2-4-26 TEL:019-631-3824 FAX:019-631-3830